

冬のウェイブ!

冬季期間の最大イベント
サイパン行くぞ計画!
寒さを感じない冬を過ごす
冬はこれで寒くない!?
ウェイブを楽しむための秘訣
「大西」を手玉に取る!

Information
Schedule

サイパンツアー・スケジュール発表!

サイパンツアーの日程が下記の通りに決定しました。寒い冬を抜け出して、常夏の島でプレーニングを楽しみに、上達しに行きましょう!詳細は各艇庫の掲示板やHPへアクセスして下さい。

	TOUR SCHEDULE	エコノミー	エグゼクティブ
1	1月14日(水) ~ 1月20日(火)	¥137,000	¥143,000
2	1月21日(水) ~ 1月27日(火)	¥139,000	¥145,000
3	1月28日(水) ~ 2月03日(火)	¥144,000	¥153,000
4	2月04日(水) ~ 2月10日(火)	¥144,000	¥155,000
5	2月11日(水) ~ 2月17日(火)	¥144,000	¥155,000
6	2月18日(水) ~ 2月24日(火)	¥144,000	¥155,000

常夏!!

料金には 航空運賃・宿泊料金・空港～ホテル送迎・スクール(23科目)航空利用料航空保安料・空港保険料が含まれます。上記以外の日程での参加も可能です。

サイパン行くぞ計画！！



冬なんて言葉を聞くと、「ああ…そろそろ手のかじかむ季節がやってくるなあ」なんて思い、「暖かい所に脱出だあ！」と考える今日この頃です。そーなんです。真冬は動きが制約されるウエットスーツを着ているせいか、どうしても動きが少々鈍くなるんです。(体がコチコチって感覚かな!?)だから真夏の格好で海に出ることのできる南の島に行ってウインドをしたくなるんですよ..。

TEXT=Yuko NAKAZAWA



そこで・・・毎冬恒例のサイパン 何故サイパンなんだろう？

暖かいというより暑いぞ

1・2月のサイパンの平均気温は約30度。日本の真夏とほぼ同じ気温。日本より暑いような気もしますが・・・となります。ということは、ウエットスーツも真夏用のウエットでOKなのです。体は良く動かし、なんとなく身軽!やっぱり南の島っていうのはサイコーっす。

日本から3時間という近さ

成田空港を出発して約3時間でサイパンに到着。時差も1時間というところで時差ボケなんていうのありません。日本人の旅行者も多いので、ほぼ日本語で大丈夫な島です。(安心々々)

風が冬の時期に吹きやすい

トレードウインドという北東貿易風が11月頃から3月頃までこの辺りを吹き抜けます。軽い風なので、なんだか乗りやすいのがイイ感じですよ。

様々なレベルの人が楽しめるゲレンデ



初心者レベル:足がつくというのが一番のメリット。多少の風でも波が立たないのはビギナーにとっては最高のコンディション。プレイングを覚えたいとか、ショートボードに乗ってみたいという人にはもってこいのゲレンデです。

中級者レベル:フラットな海面はレイルジャイブの練習にはもってこい!撃沈してもビーチスタートで復活できるので、何度でもトライする気になりますよね。「失速しないジャイブ」っていうのもフラットな海面で気持ちよく練習できます。

上級者レベル:フリースタイルにトライするにも最高のゲレンデです。ジャンプ系の技は勿論、フラットな海面ならカービング系の技もキモチィって感じですよ。



サイパン「?アフターウインド?」

宿泊場所から徒歩圏内に全てが集約している

ツアーの宿泊ホテルは「第1ホテル」がメインになります。ガラパンという街にあるのですが、ガラパンの街にはレストラン・定食屋・飲み屋・スーパー・スーベニアショップ・マッサージ等々色々な店が揃っていますから夜も昼も遊び倒せますよ!



サイパンゲレンデ案内

ウインドするところはココ!

サイパンの島のほぼ中央の西側にある「マイクロビーチ」というビーチがゲレンデになります。通常のトレードと呼ばれる風が吹けば、右からのサイドショアになります。



冬はこれで寒くない!?

TEXT=Jiro MUTOU

特集

日が落ちるのも早く、あー冬が来たんだなあ実感する今日この頃ですが、みなさんは冬でもウインドを満喫しちゃうための準備は完璧ですか?暖かいウエット着れば、冬でも心地よくウインド出来ますよ。いろいろなタイプの防寒具がありますが、あなたはどれをえらびますか?

基本はセミドライ!

この会報が出る頃は当然、みんな着てると思いますが、寒い冬を越すにはウエットはセミドライじゃないとだめですよ。セミドライは、手首や足首に水が入りにくい加工がしてあり、ファスナーもコイルファスナーという目の細かいものを使用して、水が入りにくいようにデザインされています。ボディに使用しているゴムの厚さも違って、シーガルやスプリングに使われているのは3ミリですが、セミドライのゴムは5ミリなんです。これだけで暖かさがちがいます。当然、表地はゴムです。そういうのはスキンって言います。表面が湿らないので、熱が奪われにくいのです。さらに裏地に特別な素材を張り合わせてさらに保温効果をだしているスーツもあります。でもサイズが合っていないと、寒さを感じるので、オーダーしてしっかりとサイズの合ったモノを着ましょうね。



て、Tシャツ着てたりしてました。ラッシュガードでもきないよりはましですが、その程度です。基本は半袖タイプです。ゆるめを着ないでしっかりとフィットしたサイズを選びましょうね。特に個人的にオススメなのは男性にはトランクスタイプですね。



おなかを暖めると不思議と全身暖かくなるんです。また、指先や足先のためにもインナーを着ましょうね。心臓を暖めれば、血液が足先や指先まで行って寒さを感じないからです。そうそう、セミドライの下だけでなく、シーガルやその他のスーツの下に着ても効果ありますよ。春とか秋とかにシーガルで乗っていて、「ちょっと寒いな」なんて感じたら、インナーを着るとばっちりです。



ちょっと格好良いウエットコート

まさにウエットで出来ているコートです。これは陸上で大活躍です。セッティングしたり片付けたりするときにウエットのままじゃさむ〜というあなたにぴったり。なんか上級者チックで格好いいですよ。応用が効いて、レインコート代わりにもなります。また、寒いのは嫌だけど、あまり厚いウエットや嫌と言う方にもいいですよ。ウェーブ好きな人にも多いですね。海に出るまで着ていて、上がったら、また着れば。海上では動きやすいスーツでガンガン乗る!そういうスタイルの人にピッタリ。



ウインドキャップや

ライジャケもオススメです

ウインドキャップはウエット地で出来ている帽子ですが、なんで帽子が保温なの?なんておもしろいあなた。一度かぶったら病みつきですよ。体の放熱の7割はなんと頭からだそうです。そこで頭をウインドキャップで覆えば、放熱率大幅カットです。そして全身ホカホカです。なんと指先まで暖かくなる場合もあります。これは色をオーダーできるので、あなただけのオリジナルキャップができますよ。またライフジャケットも保温効果あるんですよ。保温効果があるように設計されている訳ではありませんが、やはりあれだけの厚さのモノを身にまとうのですから、暖かくなりますよ。



オフショアの上りにはグローブを!

セミドライを着ていても寒く感じるときもあります。特に最高気温が10度 逗子ウインド用語ではシングルと言います。かな?に届かないときはだめですね。特にオフショアの際は上ってくる時にじーっとフォームを継続しているので、指先が寒く感じてしまうのです。指先は陸上と同様にかじかむのです。それを防ぐのがグローブです。指を覆い、直接風を当てないようにしながら、ウエット地で出来ているので、保温性も抜群。ウエットメーカー各社で出ますので、CBに行って自分にあったグローブを選んでみましょう。



水が冷たく感じたら冬用ブーツを!

ブーツなら持つてるとおもしろい方もいらっしゃると思いますが、夏用のブーツでは保温効果が足りません。やはり冷たくなる足先にはスキン素材を使用し、足首も出ない冬用ブーツがオススメです。海で水が冷たいって感じたらもう冬用ですよ。足下暖めないと体冷えちゃいますから。裸足だとシンシンと寒さが体内部に伝わって来ますよ。また、通常の冬用ブーツじゃ物足りないという方には保温効果のある裏地がついたタイプもあります。そしてブーツを履きたくない人のためのブーツというのも今年がありますから、これもCBへ行ってみましょう!



インナーを着用して芯から暖まろう!

インナーというのはウエットの下に着るものです。Tシャツタイプ(半袖、長袖)とトランクスタイプです。これも保温効果のある素材でできているので、薄くても暖かき倍増です。昔はそんな立派なものなく

西風を手玉に取る！



これから逗子の冬を楽しむために

TEXT=Hiro IIZUKA

--- 中級編 ---

ウェーブを始めたばかり、もしくはまだあまり経験がないと、苦手に感じる人も多い逗子の冬の風『大西』。それは浜と平行に走る風向きのため、なかなかアウト(波がくずれる外側)に出られず、波にやられてしまうから。春から夏に吹く南～南西風はクロスオンショアで、波に対して角度がとれるので波越えをしやすいですが、これからのシーズンの『大西』は、逗子湾に対してほぼ正面から吹いて来るので、それが出来ません。そこで今回は、これから逗子の冬を楽しむための『大西攻略法』を解説してみようと思います。



どこで乗ったらいいのか

ビーチの両はじまで利用して、海を広く使うようにしましょう。東浜から出艇して西浜まで一気にいき、ジャイブor波乗りをします。西浜からでも同じく東浜まで必ず行きましょう。海中央の波には乗らないで端まで行くこと、これがポイントです。

どこから出艇するのがいい？

ストレートオンショアの場合、目安は夏の海水浴規制の時の東浜・西浜の出艇エリア。ここから出ることをおすすめします。理由は下の図を見てください。逗子のビーチはこんな形に曲がっているのです。風向きに対してアビームで波がくずれるラインより沖へ行けるのは(3)の両端だけです。(2)の出艇場所は、ウェーブ上級者であればアウトに出られます。ここから出られずに苦しんでいる人は多いですね。端まで道具を運んだつもりで、もしあと30mを億劫がっていたとしたら、それはとても大きな差が出る30mです。

(1)のエリア内から出艇している上級者は、まず(2)のエリアまで行くことを考えています。そこからさらに沖へ向かおうとしているため、最初の1～2往復はアウトへ出やすい場所への「移動」をしていると思ったほうがよく、ウェーブビギナーは真似をしてはいけません。

波越えと方向転換

越えられそうもない大きい波が来たら、波と波の間を下らせて、走ってかわします。特に、中央の大きな波にやられると(1)のエリアに戻されてしまうので注意が必要です。波とほぼ平行に走れるので、反対側の岸を目指して行きましょう。

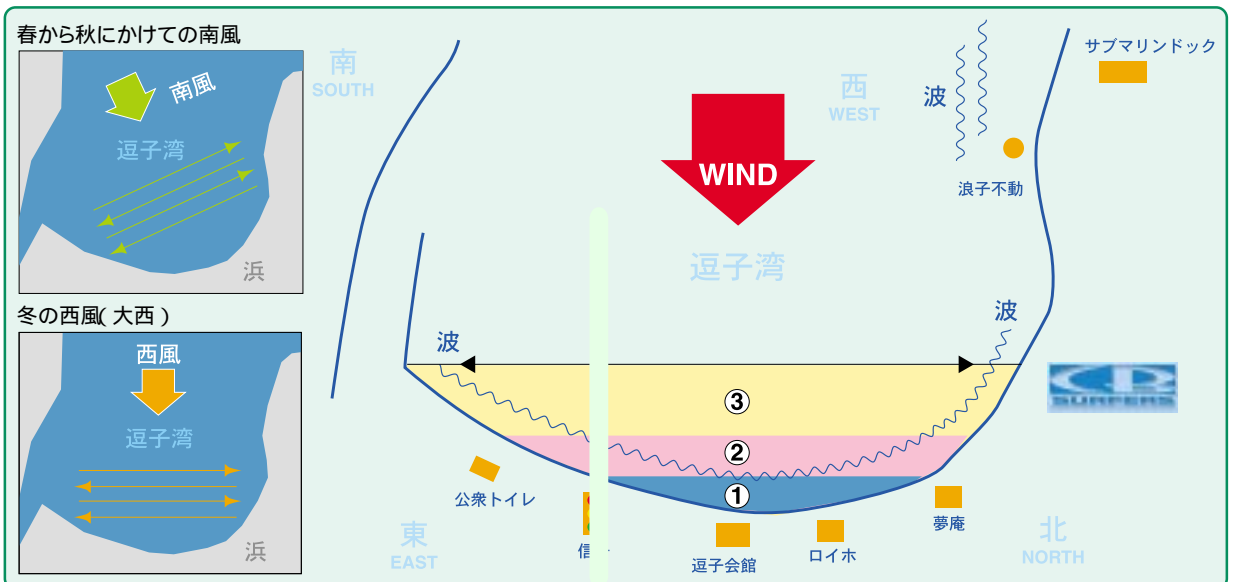
方向転換のジャイブも、沖ではなく両端のインサイドでトライしましょう。失敗しても、足がつくのでリカバリーがしやすいですよ。ただし西浜は海底が岩になっていて安易に足をつくると怪我しやすいので、ブーツを履くなどの対策をおすすめします。

この冬『大西』でたくさん乗った人は、クロスオンショアの『春一番』が吹く頃には、きっともっとラクにWaveライドを楽しめるようになっていくはず！ 頑張りましょう！



「大西」って何？

日本の季節風は冬の西風ですが、その中でも高めの風速の風を「大西」と呼んでいます。逗子ではほぼストレートのオンショアとなり、波は頭以上のサイズになることがあります。使うセイルサイズは4.0m²前後のケースが多く、風も波もきついウェーブコンディションだと言えるでしょう。



ウェイブに取り組む前の基礎知識

--- 初級編 ---

TEXT=Toru SAKAI

冬の大きに初めて出くわした時、誰もがこう言います。「返子でもこんな波が立つんですね!」ウェイブコンディションを心待ちにしている人々には、例えばハードでも、楽しみがある日になるのですが、ウェイブに乗った経験があまりない方には、スーパーハードコンディションでもあります。こうしたコンディションを乗りこなしているエキスパートセイラー達はどんな道具を使っているのでしょうか。

沈むほどの小さいボードが「ウェイブ」

ボードは「ウェイブボード」です。大きで使用されるボードは7'10" (240cm)から8'3" (250cm)あたりで、ポリウムに置き換えると60ℓから75ℓ程度のサイズが現在の標準ですね。まだウェイブにトライしたこともない方にとっては突拍子もない小さいサイズだと思いますが、その位のサイズでないと、フェイスにマニューバを描いたり、自在にジャンプすることが難しくなってくるのです。大き過ぎると波の反発が強く、風にもあおられやすくなってしまいますからです。

大きでは特に小さいウェイブセイル

大きのウェイブでは3.7m²から4.5m²ほどの小さいウェイブセイルを使います。風速は時に15m/sを越え、20m/sに届くこともありますか

ら、とても5.0m²台のセイルでは乗り切れないのです。使用マストは370~400cm、ブーム長は140~160cm程度です。どの道具を見ても、ウェイブギアはコンパクトです。だからこそ自由に振り回し、これほどにハードなコンディションで遊ぶことができるのです。

「観る」ことで上達し、実践には道具が必要

前述の攻略法を読み、海上とビーチの地形の観察をしてみてください。例えば海に出られる道具を持っていなくても、まずは先輩達の乗り方を見ておくことが大切です。どのように道具を運び、ビーチスタートし、波を越えていくのかを。今、手本となるメンバーがたくさんいます。観ることもできるし、話しを訊くこともできるでしょう。情報は多いに越したことはありません。「風が強すぎて乗れないから帰る」と口にする前に、僅かでもいいから西風を体感してみてください。そして、この西風を乗りこなしたいと思うなら、どうしても道具を手に入れなければなりません。初めてのウェイブボードは体重+20~25ℓがオススメです。セイルは4.0~5.3m²の間で1~2枚揃えておけばいいと思います。既に2本目のボードを持っている方は、まずはセイルだけでも揃えたいと思いますよ。もしも波が小さく、風も吹き上がらなければ、100ℓ+のボードでトライするチャンスがあるからです。



カッコ良く乗りこなすために

--- 上級編 ---

TEXT=Motoi KOBAYASHI

大きと言われる冬の風は強烈な西~南西の風のことを言います。これは低気圧が日本海からアリューシャン向かって停滞する時に吹き、南西から始まり西から北西で終わることが多いのが特徴です。私は4.2m²以下のセイルしか張りません。見た目より常に弱気にいきます。南よりの風では強気のセイルサイズをチョイスしますが、西風では午後に吹き上がる傾向が強いので、やや弱気のチョイスが成功することの方が多いからです。

波は大きく分けて3カ所のポイント

うねりは浜に対して平行に向かってきて、湾曲してブレイクしていきます。大まかですがブレイクポイントは3カ所あると考えたいでしょう。波が小さいときには中央の場所ではブレイクしません。サイズが大きくなると東のブレイクと西のブレイクが現れます。

中央の波は大きくてパワフル

中央の波はサイズがありフェイスが長くパワーがあります。オンショア気味なのでバックサイドに向いています。アウトのサイズのある波はフルスピードでボトムに降り、ドライブしたボトムターンからセイルを寝かせたトップターンというのがカッコイイですよ。インサイドでは東からの波のカールに向かってバックサイドエアーをかけてみましょう。スピードに乗せ、浅いボトムターンから波のカールを狙い、セイルと前足を引っ張り上げるとジャンプのようなエアーがかけられます。ただ、波のサイズがある時にはアウトに出にくくなるので中央の波は注意が必要です。また、この波の両端はジャンプしやすいポイントでもあります。ポートジャンプは信号前から返子会館前のカールかショルダーを狙い、フォワードやプッシュループを仕掛けやすいところです。スタボージャンプはカーニバルピュッフェ前が波が掘れるので怖いぐらいに跳べます。ショルダー気味のところを狙えばロングジャンプ系、カールを狙えばハイジャンプ系の技ができます。ですが、ここは風が比較的強く吹き抜けるので、オーバーセイル気味

の時には無理をしないで下さい。また、ここでのジャンプは助走の距離が取れないので、止まらないジャイブや失速しない波越えがジャンプを成功させるカギとなります。

東の波は南西が狙い目

東はメローな波質なので、タイトなターンを繰り返しスプレーを飛ばしてみるのも良いでしょう。時にはスタボーでフロントに行くこともできます。沖よりのポートのジャンプはロングジャンプになるのでフォワードループに向いていると思います。

フェイスが整う西の波

西の波は中央に比べサイズは劣りますが、波が掘れ、面がキレイなので私のお気に入りです。ちょうどCBの前で西風の時にポートでのフロントサイドが最高です。この波はボトムから掘れるのでブレイクが早く、タイミングがとりやすいので、大きいオレンジのブイを目安にスピードに乗せボトムに降ります。フェイスを上がりはじめたらすぐに切り返さないと間に合いません。上手いければカールの中で板が返ります。大崎の波質に似ているので、ここで練習してから大崎に行くのが良いでしょう。



ジャンプでもウェイブライディングでも波のピークを探し、カールやショルダーでのアクションを攻略することが、冬のウェイブを制することになり、上達の秘訣だと思って下さい。

Event Schedule



'03 12月 ~ '04 03月

日付	イベント	内容
12/13(SAT) ~ 03/28(SAT)	大崎 Classic	詳細は下記に
12/20(SAT)	GRAND PARTY	詳細は後日発表します
12/29(MON) ~ 01/03(SAT)	沖縄 Tour	詳しくはHPをご覧ください
01/03(SAT)	初詣セイリング	詳細は後日発表します
01/14(WED) ~ 02/24(TUE)	Saipan Tour	1,2 ページを参照して下さい
03/20(SAT)	Members Race vol.1	レース形式は未定

スタッフのひとりごと

もう11月も後半になりました。日一日と寒さがちょっとずつではありますが、ここ逗子でも感じていきます。神奈川より北の方にお住まいの方は「何言っただやがんだ、こっちはとっくに寒くなってぞー!」と言う方もいらっしゃるのではないのでしょうか。先日木枯らし一風が吹きました。西高東低の気圧配置が決まりはじめ、これから本格的な冬に突入です。そうすると「やきいも」がおいしい季節ですね、じゃなくて、北と西の美味しい風が吹く季節ですね。北風と言うと、僕は小学生の時学校が家から北側へ15分ほどだったので、毎朝寒い思いをして冷たい北風に向かって通学していました。しかも半ズボン運動なんつーものがありまして、長ズボンをはいていくとひ弱な奴と思われるので年内いっぱい頑張っていましたね。午後になると風も弱まりポカポカ陽気となって、給食後の昼休みなどはシャツ一枚で校庭で遊んでいた記憶があります。今思うとあれが冬特有の風の吹き方だったんだと実感します。

冬、北風は午前中やや強めに吹いて日中の暖くなる頃には弱まってしまいますので、プレーニング狙いは早起きさんじゃないと駄目ですね。しかし、あまり朝早すぎても吹いていないんですよ!それに朝早く海に出るのはとても危険です。流されてもトラブルがあっても誰も気がつかないので自分の事を見守ってくれる人、例えば艇庫管理の人とかが来てから海に出るようにしましょうね。冬の朝吹く風は夏のサーマルの逆、みたいなものです。詳しく知りたい人は聞きに来て下さいね。もっと知りたい人ば「風と波を知る101のコツ」を買って下さいね。もちろんCBで!

西高東低の気圧配置が猛烈に強まると、言うけど皆さんはよく分からないと思うので簡単に言うと、新潟の方が吹雪きになる位に、北海道の方にある低気圧の勢力が益すと、逗子の辺りは富士山の方から吹いてくる西風の恩恵を受けるのです。風のお話を詳しく知りたい人は聞きに来てね。で、その恩恵というのが、沖から入ってくる猛烈に強いオンショアの風!この風は一気に10m/sオーバー迄吹き上がりその後吹き続けた風は、風波を作り上げオーバーヘッドのパーフェクトwaveコンディションとなるのです。そうすると、そそくさと海に出ていく僕がそこに居ます。でもそうするとwaveする上級者しか駄目じゃん!と思いがちですが、吹きはじめは波なんか、全く無いので波が届くまでの間はwaveしない人達のお時間です。フラットな海面でガンガン「ジャイブ&プレーニング」を楽しめちゃうのでご安心を!でも波が来たら速やかに上がって下さいね。無理して頑張っちゃうと怪我をしたり道具を壊したりしちゃいますからね。で、その頃、私めは大崎へ遊びに行ってしまうのであります。めでたし!めでたし!大崎のお話は又の機会にさせていただきます。ではでは。



塚田みつる
CB SURFERS

FJ

12月29日 ~ 1月3日

沖縄ツアー参加者募集中

一緒に沖縄の地で、年越しカウントダウン&元旦からプレーニングしませんか!

SCHOOL

12月20日 2003年末パーティー開催予定!

会場・テーマ・開催時刻・参加費等は、後日報告致します。

1月初旬 初詣セイリング

森戸海岸まで、ウインドで行って神社にてお参りして帰ってくるロングセイリング。雑煮やお汁粉が待っています!

大崎 CLASSIC

大西の大崎でコンテスト開催

黄色いバスが目印のサブマリンドック前は、西風の時には絶好のウェーブコンディションになります。ホームグレンデにある絶好のポイントで「CB Cup エキスパート編」としてコンテストを行います。

日程: 12月 ~ 3月末までの土日祝日の西風の日

クラス: エキスパートクラスとオープンクラス

時間等の詳細は後日発表します。

Windsurf News

次号予告

「サイパンツアーレポート」

「春の風と道具選び」

「微風フリースタイルテクニク解説」

などなどを予定しています。

2004Vol.1は3月20日頃に発行予定です。

〒249-0007

神奈川県逗子市新宿1-3-5 逗子会館1F

逗子ウインドサーフスクール

046-873-2863

(株)ウインドプランニング

046-873-3354

平成15年11月20日発行

編集スタッフ: 霜山/小林/飯塚/中澤/酒井/岡本/武藤/塚田

会報へのご意見・ご要望は、<a shimo@db3.so-net.ne.jp>までお願いします。